

久慈市の動き



重点戦略

いつまでも
住み続けたいと思う
まちづくり

■くじの魅力を発信
琥珀や北限の海女、久慈秋まつりなどの「見る」観光をはじめ、「体験」や「食」の資源を活かした観光振興に取り組んでまいります。

■日本一の地域づくり
「これからも住み続けたい、戻ってきたい」地域を目指して、地域の魅力を向上させる取り組みを進めてまいります。

■安心・安全なまち
防災行政無線の難聴解消や

防災情報の配信サービスなどにより、災害時などの市民への情報提供に努めます。

■愛される公共交通
高齢者等の通院・買い物

■安心できる医療福祉
高齢者を支える共助の力を育み、福祉コミュニティの醸成を目指すとともに、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境の整備や、生きがいを持つて生活し続けられる体制づくりに取り組みます。

■魅力ある仕事し
当市の産業を担う人材の確保

■出愛いと地元愛
結婚支援イベント実施団体への補助や縁結び支援員の活動などを通じて結婚支援を行うとともに、授乳やおむつ交換スペースの普及推進など、子育てにやさしい環境づくりに取り組んでまいります。

充実・確保対策についても引き続き取り組んでまいります。

また、子どもたちが地域の魅力を再認識する体験機会を創出し、地元愛を育むことで若者の地元定着に繋がる取り組みを推進してまいります。

また、産学官金が一体となった、資金面や販路開拓など、意欲のある起業家や事業者に対する支援をより強力に進めてまいります。

さらには、働きがいや魅力ある雇用の場の創出に併せて、市内事業者の情報発信力の強化やマッチングイベントなどへの参加支援など、雇用の拡大がなされるよう努めてまいります。

施政方針

市民との対話で まちをつくる



市民との対話により作り上げた、今後10年の久慈市の羅針盤ともいえる「市総合計画」を進める初年度がスタートしました。今回は、2月26日に開かれた市議会定例会議で遠藤譲一市長が述べた平成28年度施政方針の概要のほか、予算、主な事業、人事異動の内容をお知らせします。(9ページまで)

基礎戦略

共に支え、元氣と安らぎあふれるまちづくり

すべての市民が、健康で安心して自立した生活を送ることができるよう、関係機関団体及び市民の皆さまとの協働により、福祉コミュニティの醸成に努めてまいります。

また、町内会等と連携を図り、災害弱者に対する日頃の見守り活動を充実し、災害時において迅速な避難支援ができる体制を整えるとともに、災害弱者を一時的に受け入れるための福祉避難所の協定締結を進めてまいります。

また、安心して子どもを産み育てることができるよう、ハイリスク妊婦の健診受診に係る交通費や付添者の宿泊費の一部助成、出産祝い金の交

付など妊産婦支援に努めます。また、住民ニーズと地域の自主性を大切にした、市民協働道路維持補修事業により、市民と行政の協働による効率的且つ効果的な道路整備の積極的な推進に努めます。

総合力豊かな人材を 育てるまちづくり

子どもの健康の保持増進や子育て世代の負担軽減に向け、子どもの医療費助成の対象拡大、所得制限の撤廃について、引き続き検討してまいります。

に、放課後児童クラブの施設整備・運営支援等を行い、子育て世代が安心して働くことができる子育てしやすい環境づくりを推進してまいります。

資源を生かす魅力とやりがいのある産業のまちづくり
新規就農者を確保・育成するとともに、意欲ある農業者が将来にわたって農業を行うことができる環境づくりに取り組んでまいります。

定を図るため、当市の基幹水産物であるウニ、アワビ放流経費への助成のほか、ヒラメ、淡水魚等の放流を推進することに加え、湾口防波堤の完成によって形成される広大な静穏域を活用し、関係機関と連携し、カキ、アワビ等の養殖実証事業に取り組んでいくなど、つくり育てる漁業の推進に努めてまいります。

山形村短角牛の生産者と消費者の交流ツアー。生産現場の見学や、生産者との交流を通じて、安心で安全な生産体制をPRします



上/医療費やインフルエンザ予防接種の助成など、子育て支援にも取り組めます 中/中・高校生海外派遣研修での活動 下/市民協働で行う道路の維持補修



さらには、未利用材の有効活用による林家所得の向上に努めるとともに、木質バイオマスと他産業との有機的な連携を図られるよう、調査・研究を進めてまいります。

久慈駅前整備事業につきましては、平成30年度の完成に向けて着実な進捗を図るとともに、関係団体と連携しながら、ソフト事業の充実に努め、中心市街地全体の回遊性の向上と、商店街への波及効果促進の実現に向け、鋭意、取り組んでまいります。